

# 排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

A 重油ボイラから  
国産材を利用した木質バイオマスボイラへの  
更新プロジェクト

排出削減事業者名：社会福祉法人つつ星会  
白梅荘

排出削減事業共同実施者名：丸紅株式会社

株式会社イースクエア

その他関連事業者名：株式会社テス東北

## 1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	社会福祉法人いつつ星会
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	特別養護老人ホーム白梅荘
住所	岩手県二戸市堀野字大畑 1 - 1
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業 共同実施者名	丸紅株式会社
排出削減事業 共同実施者名	株式会社イースクエア
その他関連事業者	
関連事業者名	株式会社テス東北

## 2 排出削減活動の概要

### 2.1 排出削減事業の名称

A 重油ボイラから国産材を利用した木質バイオマスボイラへの更新プロジェクト

### 2.2 排出削減事業の目的

A 重油ボイラ 2 台を木質バイオマスボイラ 2 台へ更新する。低炭素燃料へのエネルギー転換によって、CO2 排出量を削減する。

### 2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

木質バイオマスはカーボンニュートラルが適用され、CO2 を実質的に排出しないものとみなされるため、ボイラの燃料を A 重油から木質バイオマスへ転換することにより、CO2 排出量を削減する。

### 2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

### 2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

変更なし

### 3 排出削減活動期間

#### 3.1 プロジェクト開始日

2008年 5月 31日

#### 3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2012年 1月 1日 ～ 2012年 11月 30日

### 4 温室効果ガス排出削減量

#### 4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

#### 4.2 活動量

##### 4.2.1 活動量・原単位

活動量・原単位は採用しない。

##### 4.2.2 活動量の採用根拠

活動量は採用しない。

#### 4.3 事業の範囲（バウンダリー）

バイオマスボイラー及びボイラーから温水及び暖房の供給を受ける設備

## 5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・根拠資料	(モニタリング方法に変更ある場合、) 変更理由
$F_{\text{fuel,PJ}}$	木質バイオマス使用量	t	114.4	ペレット供給会社の請求書	変更なし
$HV_{\text{fuel,PJ}}$	木質バイオマスの単位発熱量	GJ/t	18.00 (高位発熱量、到着ベース)	ペレット供給会社の提出データ	変更なし
$\varepsilon_{\text{PJ}}$	事業実施後ボイラ効率	%	80.09 (高位発熱量)	カタログ値	変更なし
$\varepsilon_{\text{BL}}$	事業実施前ボイラ効率	%	82.54(高位発熱量、加重平均)	カタログ値	変更なし
$CF_{\text{fuel,BL}}$	A 重油の単位発熱量あたりの炭素排出係数	tC/GJ	0.01890	国内クレジット制度のデフォルト値	変更なし

## 6 排出削減量の計算

### 6.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
			0.0
EM <sub>PJ</sub>			0.0

### 6.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
114.4 (t)	18.0 (GJ/t)	0.01890 (tC/GJ)	138.5 (t-CO2)
80.09 (%)			
82.54 (%)			
EM <sub>BL</sub>			138.5 (t-CO2)

### 6.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
			0
LE			0

### 6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM <sub>BL</sub>	138.5
事業実施後排出量 (7.1)	EM <sub>PJ</sub>	0.0
リークージ排出量 (7.3)	LE	0
温室効果ガス排出削減量	ER	138

## 7 省エネルギー量

本事業は、再生可能エネルギーを利用するプロジェクトのため、省エネルギー量はない。

## 8 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 (2012年1月1日 ~ 2012年11月31日)			
		エネルギー使用量	熱量換算 (GJ)	原油換算(kl)
	単位	(実績)	(実績)	(実績)
バイオマス利用量	t	114.4 t	2,059 GJ	53.1 kL